

第 149 回島根県立大学教育研究評議会議事要旨

(令和 2 年度 第 5 回)

- ・ 日 時 令和 2 年 9 月 23 日 (水) 15:00～15:50
- ・ 場 所 浜田キャンパス本部棟会議室 出雲キャンパス大会議室
松江キャンパス大会議室
- ・ 出席者 清原学長、山下学長代行、井上厚史副学長、石橋副学長、岸本副学長、
林総合政策学部長、梶谷看護栄養学部長、岩田人間文化学部長、福原北
東アジア開発研究科長、犬塚教務部長、吾郷教務部長、松浦教務部長、
濱田学生生活部長、名和田学生生活部長、小柳学生生活部長、狩野別科
長、李北東アジア地域研究センター長、藤原しまね地域研究センター長、
小池事務局長
- ・ 欠席者 なし

○第 148 回教育研究評議会の議事要旨の確認について

第 148 回教育研究評議会の議事要旨について、原案どおり承認された。

《審議事項》

(1) 2020 年度秋学期及び 2021 年度春学期における海外研修実施に関する対応方
針 (案) について (浜田キャンパス)

ケイン国際交流センター長から、2020 年度秋学期及び 2021 年度春学期における
海外研修実施に関する対応方針 (案) について、資料 (略) により説明があり、承認
された。

福原北東アジア開発研究科長より、教員個人が学生を連れて海外研修に行くこと
も本方針に準ずる必要があるのか確認があり、ケイン国際交流センター長から、国
際交流センター主催の研修が対象であると回答があった。

清原学長から、個人等の場合もこの方針に準ずる必要があると考えるが、新型コ
ロナウイルス対策会議で随時検討していきたい旨の発言があった。

(2) 教員昇任人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成 (案) について (浜田
キャンパス)

井上厚史副学長から、教員昇任人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成 (案)
について、報告事項 3 と合わせて資料 (略) により説明があり、承認された。

(3) 教員昇任人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成 (案) について (出雲
キャンパス)

石橋副学長から、教員昇任人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成 (案) に
ついて、報告事項 4 と合わせて資料 (略) により説明があり、承認された。

(4) 教員昇任人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成 (案) について (松江
キャンパス)

岩田人間文化学部長から、教員昇任人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成

(案) について、報告事項5と合わせて資料(略)により説明があり、承認された。

清原学長から、審議事項2、3、4に関連して、教授職の定数管理の弾力的な運用を実施すること、及び今後の人員構成により、出雲キャンパスでは講師であっても、助教の職務を並行して実施してもらう必要があること、について言及があった。

(5) 島根県立大学人間文化学部しまね地域マイスター課程履修等規程の改正について(松江キャンパス)

岩田人間文化学部長から、島根県立大学人間文化学部しまね地域マイスター課程履修等規程の改正について、資料(略)により説明があり、承認された。

(6) その他

なし

《報告事項》

(1) 令和2年度地域貢献推進奨励金追加募集について(浜田キャンパス)

清原学長及び事務局から、令和2年度地域貢献推進奨励金追加募集について、資料(略)により報告があった。

福原北東アジア開発研究科長より、活動場所が島根県内に限定されると研究範囲等が狭くなる可能性があるため、文言の修正は可能か確認があり、清原学長から、コンソーシアムの財源を利用していることから、活動場所に制約が出ることはあるが、今後疑問点が生じた場合は、連携交流課を通じてコンソーシアム事務局にたずねてほしい旨の回答があった。

(2) 新学部における新規採用教員の選考について(浜田キャンパス)

井上厚史副学長から、新学部における新規採用教員の選考について、資料(略)により報告があった。

(3) 教員の昇任に係る選考開始について(浜田キャンパス)

※審議事項2で説明済みのため、省略

(4) 教員の昇任に係る選考開始について(出雲キャンパス)

※審議事項3で説明済みのため、省略

(5) 教員の昇任に係る選考開始について(松江キャンパス)

※審議事項4で説明済みのため、省略

(6) 中山医学大学(台湾)との包括協定の締結について(浜田キャンパス)

ケイン国際交流センター長から、中山医学大学(台湾)との包括協定の締結について、資料(略)により報告があった。

(7) その他

・浜田キャンパスにおける新学部設置後の運営体制検討について(清原学長)

清原学長から口頭により、浜田キャンパスにおける新学部設置後の運営体制検討について、各キャンパスの自立的な運営を目指していくべく、全学センターの在り方や組織体制を見直し、素案を今後提示していきたい旨の報告があった。

次回開催予定：令和2年10月28日（水）